

令和7年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立羽田小学校

I 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・東京都や各都道府県の場所、地域の特色などを確実に覚えられるように、確認テストを行ったり、授業の導入で復習をクイズなどにして繰り返し行ったりした結果、少しずつ知識が定着してきた。
- ・社会科の授業において、多くの資料や写真、映像等に触れさせることで、必要な情報を探し出すことを意識させることができた。
- ・資料から疑問や質問を考え、それに対して探究的な学習をする授業を大切にしていこうとすることで、受動的な学習姿勢ではなく、主体的に問題に対して取り組む意欲が高まった。

(2) 課題

- ・重要語句や専門用語についての理解が不十分である。
- ・資料を正確に読み取る力に課題がある。自分の考えを整理して、言葉に表すことも難しい。そのため、重要語句や専門用語の知識の確実な定着に結び付いていない。
- ・複数の資料を関係付けて読み取る力に課題がある。1つの資料から読み取れる視点でのみ考えてしまい、多面的に考えるために資料を活用し、考えを深めていくことが不十分であった。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（全国標準スコアとの比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第4学年	▽		
第5学年	▽	(第4学年時) ▽	
第6学年	▽	(第5学年時) ▽	(第4学年時) ▽

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・四方位や地図記号についての理解は定着している。 ・スーパーマーケットの工夫やお客様の願いについて理解することができている。	・資料をもとにして考えを表現する問題になると、誤答が多くなっている。	・ほぼ全ての問題で無解答が出現している。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・重要語句や専門用語についての理解が不十分である。	・複数の資料を関係付けて読み取る力に課題がある。1つの資料から読み取れる視点でのみ考えてしまい、多面的に考えるために資料を活用し、考えを深めていくことが不十分であった。	・記述問題になると、無解答が多くなっている。

授業改善のポイント（観点別）

（１）中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・東京都や各都道府県の場所、地域の特色などを確実に覚えられるように、確認テストを行ったり、白地図を掲示したりして工夫する。 ・単元のまとめの学習を丁寧に行う。その際、学んだ語句を使い、ノートに文章や図、表を使ってまとめることで理解を深めさせる。	・表やグラフを読み取ることを授業の中で確実に指導し、実践的な活用力を身に付けさせる。 ・地名探しゲームや記号探しゲームなどを多く取り入れ、地図の読み取りに慣れさせ、資料の中から必要な情報を探し出す力を身に付けさせる。	・体験的な学習を多く取り入れるとともに、関連するＴＶのニュース番組や新聞などをその都度取り上げる。また、デジタル教科書や映像資料を活用することで、児童が主体的に学習に取り組めるように指導する。

（２）高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・教室掲示を工夫することで、児童に重要語句やポイントなどに日頃から触れることができるようにしておく。 ・重要な語句や覚えるべき知識は、板書を強調したり、繰り返し復習を行ったりするなど、定着を図ることができるようにする。 ・単元ごとに振り返りをする時間を設定し、まとめや学習感想を書く活動を通して、その単元で得た知識を身に付けることができるようにする。	・提示する資料を精選して、資料を正確に読み取る力を身に付けさせる。 ・資料を読み取り、気付いたことや分かったことを書く学習習慣を作る。 ・資料から分かったことを活用して自分の考えをまとめたり、次の学習内容に生かしたりすることができるように指導する。	・教科書や副教材、本や新聞などの複数の資料を横断的に見て、情報を集めていく。また関連する情報や資料を ICT を活用し、自ら集めていく。そこから分かったことや気付いたことをもとに、自分の考えをもつことができるようにする。